



正法眼蔵嗣書草案本断簡（伊井家旧蔵本）／道元筆／紙本墨書／縦 21.5×横 16.7 cm（本紙部分）／鎌倉時代

本書は、仁治2年(1241)3月7日、道元禅師が深草(京都市伏見区)の興聖寺において撰述した草案本の一部で、江戸時代に分施されたものの一つである。本書はもとは京都五条の又兵衛に伝わった。その後、その所蔵は密蔵院良澄、海蔵寺(三重県桑名市)量外智丈、井伊直弼の縁故者である伊井家へと移った。そして『道元禅師真蹟関係資料集』の刊行(昭和55年〈1980〉)を機に、伊井家から永平寺へ寄贈された。